

令和4年10月18日

会長 齋藤 武久 様

総務部長 梅本 彰吾

令和4年度ビッグレスキューかながわ 葉山町 医療救護所訓練参加報告書

10月16日、神奈川県葉山町において開催された、標記の訓練に参加した結果を、下記のとおり報告いたします。

記

- 1 訓練実施日時
令和4年10月16日（日）午前9時から午前10時20分
- 2 訓練会場
葉山町立南郷中学校 体育館
神奈川県三浦郡葉山町長柄1835
- 3 訓練参加機関
（公社）神奈川県医師会、（一社）逗葉医師会、（公社）神奈川県歯科医師会
（公社）神奈川県看護協会、（公社）神奈川県柔道整復師会、
（公社）神奈川県放射線技師会 神奈川県医薬品卸業協会、神奈川県精神医療センター、神奈川県、葉山町役場
- 4 医療救護所訓練参加人員
訓練 35人 模擬患者18人 計53人
内、本会関係
（1）本部 総務部長 梅本彰吾、総務部員 山崎慎也、総務部員 山崎陽介
（2）横須賀支部 支部長 増川俊太郎、横須賀支部 高橋誠悟
- 5 訓練想定
関東大震災規模の地震発生により、人畜に甚大な被害が発生した。葉山町では、医療関係職、医薬品等が不足している状態である。指定緊急避難場所の町立南郷中学校には、負傷者や要支援者を含む多数の避難者が集まった。このため、葉山町災害対策本部は、同所に臨時医療救護所を設置するとともに、神奈川県に支援を要請した。県では、葉山町からの要請に基づき、各種医療機関等に協力要請し、医師、看護師、柔整師等が同町に派遣され、トリアージ、応急手当等が処置された。
- 6 実施内容
医療救護所訓練は、模擬患者の受付→トリアージ→処置→X線撮影→重症患者の転送や精神科支援診療の手順で行われたが、トリアージ訓練の比重が高く、様々な症例を抱える模擬患者に対して、医師だけにとどまらず、主任(医師)の指導の下で薬剤師、本会会員も2人1組でトリアージ判定に携わり、互

いに手順を確認しながら行うことができました。

また、処置ゾーンに配置された会員も、搬送された模擬患者への措置について、主任(医師)の指導の下、同ゾーンの看護師と連携しながら応急措置の対応を確認することができました。

7 その他

- (1) 訓練終了後には、久保田神奈川県医師会理事と直接話すことができ、訓練の意義を確認することができました。
- (2) 訓練状況写真を添付します。

以上

令和4年10月16日 ビッグレスキューかながわ 医療救護所訓練



医療救護所会場全景



会場入口



訓練参加者受付所



医療救護所出入口



医療救護所全景（正面）



医療救護所（背面から撮影）



葉山町訓練担当者(伊藤氏)挨拶



久保田医師（県医師会理事）の訓練説明



訓練説明に対する質問



配布資料の見合わせ



塩見医師（逗子医師会会長）との受付確認



塩見医師との受付確認



訓練開始前、葉山町副町長挨拶



処置ゾーン担当者との打合せ



模擬患者搬入、負傷状況解説



トリアージ開始



車いす患者の受付



歩行可能女性患者の受付



外国人患者の受付



梅本部長によるトリアージ



処置ゾーン山崎(慎)会員の診療補助



久保田医師、来賓(県知事等)への想定説明



想定に基づく高橋会員のトリアージ状況



久保田医師による訓練総括



訓練参加者

(高橋誠悟・増川俊太郎・山崎陽介・山崎慎也・梅本彰吾)



神奈川県医師会理事久保田剛氏を囲んで